



統計から何かが見えてくる ～地方自治体版～

統一地方選挙も終わり、初めて当選された方、また引き続き再選された方、各々が新たな気持ちで議会に臨まれることと思います。

ところで従来より、色々な形で議会の俎上にも上がっていることと思いますが、改めて各都市の状況を調べてみたいと思います。下記の一覧表示はその一例に過ぎませんし、額が大きいからと言って、すぐさま批判の対象とはしたくはありません。

ただ、実態として社会情勢を踏まえて議論すべきテーマでしょう。例えば、①地域住民の所得水準に比べて、役所や議会の給与が適切なのか、②住民税等、市民の負担とサービス提供水準が妥当なのか、③首長が報酬に見合った存在感をPR出来ている

のかetc、話題性をもって取り上げるべきと思われる。

さて、議会人のやる気と良識が試される、そんな闊達なやり取りを期待していきましょうか…。

【統計から何かが見えてくる ～地方自治体版～】

順位	1人当たり住民所得		自治体職員年収		議員報酬	
	市町村	所得額	市町村	年収額	市町村	報酬額
1	鎌倉市	472	厚木市	751	横浜市	1630
2	葉山町	457	逗子市	728	川崎市	1328
3	逗子市	440	川崎市	717	相模原市	1105
4	横浜市	407	藤沢市	705	横須賀市	1089
5	藤沢市	404	伊勢原市	703	藤沢市	957
6	川崎市	403	綾瀬市	697	平塚市	834
7	大磯町	395	鎌倉市	694	鎌倉市	810
8	茅ヶ崎市	376	横浜市	691	小田原市	787
9	海老名市	360	横須賀市	685	茅ヶ崎市	783
10	大和市	347	葉山町	683	厚木市	751

興すということ

今月の

水戸まさし応援団

万葉集が今、静かなブームとなっているようだ。知つての通り、新元号「令和」の典拠となったのがこの万葉集。奈良時代に完成した現存する最古の歌集が、書店で売上げを伸ばしている。

6月は梅雨入り。麦刈りや田植などの農作業が忙しくなる時期で、命を潤す長雨の季節に結婚する花嫁が多いと聞く。

「フーンブライト」は、古代ローマ神話に由来し、欧州では気候が良くて、花の咲き乱れる季節を表す。そうした風習が日本に上陸し広まったという。

話を先に進めると「王用の丑の日」に食べる鰻は、江戸時代に平賀源内が馴染みの鰻屋を流行らせるために宣伝したことが発端らしい。こうして見ると、ブームやヒットには自然発生的なもの、また意図的な仕掛けがあったりするようだ。

ところで選挙に対する水戸さんの心構えはいかに…。将来に亘り、安心して暮らせる市民の思いを政策にして、臨戦態勢を整えるよう希望したい。個々のエールが大きくなり、ねりを興せるように！

水戸まさし応援団

Mチーム 益田 正廣

◆事務所

〒245-0008

横浜市泉区弥生台26-6

TEL: 045-814-3001 FAX: 045-814-3007

メール: kickoff310@gmail.com

◆HP: <https://www.kickoff310.com/>

◆Face Book: 「水戸将史」で検索

◆Twitter: @mito_kickoff

◆メルマガ: 登録はHPから